

1. 投稿原稿について（所定の原稿 word を用いて論文作成する）

A4判の用紙を使用し、1頁26文字×30行とする。原稿下段中央に頁を記すこと。左側余白に5段ごとに行番号を入れること。ただし表紙には行番号は入れないこと。

文字は原則として日本語は明朝体（全角文字）英数字はTimes New Romanを用い、サイズは12ポイントとする。英数字はすべて半角で入力すること。また英文における単語間は半角にすること。人名は頭が大文字、あとは小文字で記載すること。

原稿は、医学専門用語を除き、常用漢字、新かなづかい、を用いること。

学術用語は、医学用語または医学用語辞典（日本医学会編）を用いる。

歯学用語は、文部科学省学術用語集・歯学編（日本歯科医学会編）を用いる。歯式の記載は下記に従う。

② 本文中の初出の表記は、上下顎、左右側、歯種の順とする。

② 2回目以降はZsigmondy/Palmer式の歯式表記法あるいはtwo-digit systemを用いて差し支えない。ただし、表記法は何れかに統一すること。

医療材料、薬品、機器などの記載は、一般名称に続いて、（ ）内に製品名、型式、製造社名、製造国名または都市名を順に記載する。

（記載例）

- ・チタンメッシュプレート（1.0mm マイクロメッシュ、日本マーチン株式会社、東京、日本）
- ・インプラント体（ブローネマルクシステム MK III, Nobel Biocare, Göteborg, Sweden）
外国の人名等はなるべく原語をもちいること。

数字はアラビア数字とし、単位は国際単位系（SI）を使用すること。主なものについては投稿規程を参照のこと。

(4) 文献

記載例

- (1) 山下佳雄, 森 啓輔, 他: 下顎骨再建に用いた移植骨へ埋入したインプラント周囲骨の経時的変化. 顎顔面インプラント誌 10:63-68 2011.
- (2) Blackburn, T.K., Cawood, J.I., et al. : What is the quality of the evidence base for pre-implant surgery of the atrophic jaw ? Int J Oral Maxillofac Surg 37: 1073-1079 2008.
- (3) Sandner, A. and Bloching, M. : Retrospective analysis of titanium plate-retained prostheses placed after total rhinectomy. Int J Oral Maxillofac Implants 24: 118-123 2009.
- (4) Davudov, M.M., Rahimov, C., et al : The use of pectoralis major musculocutaneous and deltopectoral flaps in oromandibular defects reconstruction. World J Plast Surg 2019;8(3):401-405. doi: 10.29252/wjps.8.3.401.
- (5) 高橋榮明: 骨のリモデリングとモデリング. 須田立雄, 小澤英浩, 高橋榮明, 田中 栄, 中村浩彰, 森 諭史編; 新骨の科学. 第1版, 医歯薬出版, 東京, 2007, 231-246 頁.
- (6) Chiapasco, M., Rosenlicht, J.L., et al.: Contraindications for sinus graft procedures. Jensen, O.T.; The Sinus Bone Graft. 2nd ed., Quintessence Pub., Chicago, 2006, p87-101.
- (7) Renouard, F., Rangert, B. ; インプラント補綴のリスクファクター (前田芳信, 米畑有理訳). 第1版, クインテッセンス出版, 東京, 2000, 40-46 頁 : Risk Factors in Implant Dentistry. 1st ed., Quintessence Pub, Chicago, 1999.

*句読点まで投稿規定に従って記載すること。

引用文献

記載例

- 1). 山下佳雄, 森 啓輔, 他: 下顎骨再建に用いた移植骨へ埋入したインプラント周囲骨の経時的变化. 顎顔面インプラント誌 10:63-68 2011.
- 2). Blackburn, T.K., Cawood, J.I., et al. : What is the quality of the evidence base for pre-implant surgery of the atrophic jaw ?. Int J Oral Maxillofac Surg 37: 1073-1079 2008.
- 3). Sandner, A. and Bloching, M. : Retrospective analysis of titanium plate-retained prostheses placed after total rhinectomy. Int J Oral Maxillofac Implants 24: 118-123 2009.
- 4). Davudov, M.M., Rahimov, C., et al : The use of pectoralis major musculocutaneous and deltopectoral flaps in oromandibular defects reconstruction. World J Plast Surg 2019;8(3):401-405. doi: 10.29252/wjps.8.3.401.
- 5). 高橋 榮明: 骨のリモデリングとモデリング. 須田立雄, 小澤英浩, 高橋 榮明, 田中 栄, 中村浩彰, 森論史 編; 新骨の科学. 第1版, 医歯薬出版, 東京, 2007, 231-246 頁.
- 6). Chiapasco, M., Rosenlicht, J.L., et al.: Contraindications for sinus graft procedures. Jensen, O.T.; The Sinus Bone Graft. 2nd Ed, Quintessence Pub., Chicago, 2006, p87-101.
- 7). Renouard, F., Rangert, B. : インプラント補綴のリスクファクター (前田芳信, 米畑有理訳). 第1版, クインテッセンス出版, 東京, 2000, 40-46 頁 : Risk Factors in Implant Dentistry. 1st Ed, Quintessence Pub, Chicago, 1999.

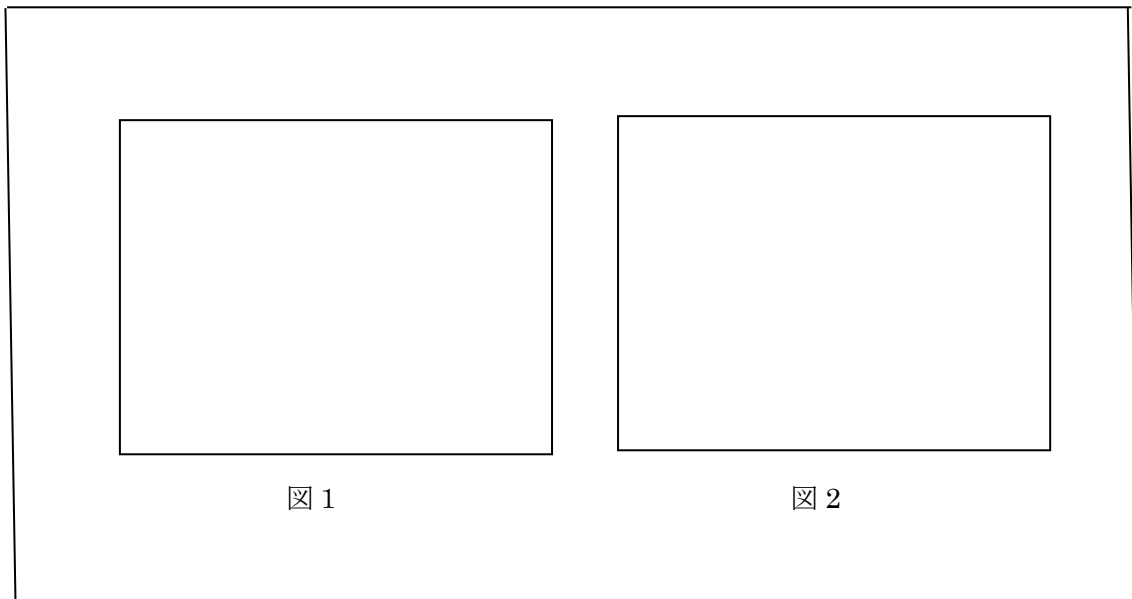
引用文献イメージ 1

本文で引用した文献は、本文末尾から改頁し、引用順に番号を付記し一括して記載する。文献の記載方法については投稿規程を参照のこと。引用文献は本文中の引用か所に上付き肩番号で記すこと。

本文記載例) 「…〇〇ら¹⁾は、…」

引用文献が複数になる場合には、上付き肩番号を「1,2)」 「1~4)」のように記載する。

(6) 写真 (図)、表の様式



写真イメージ

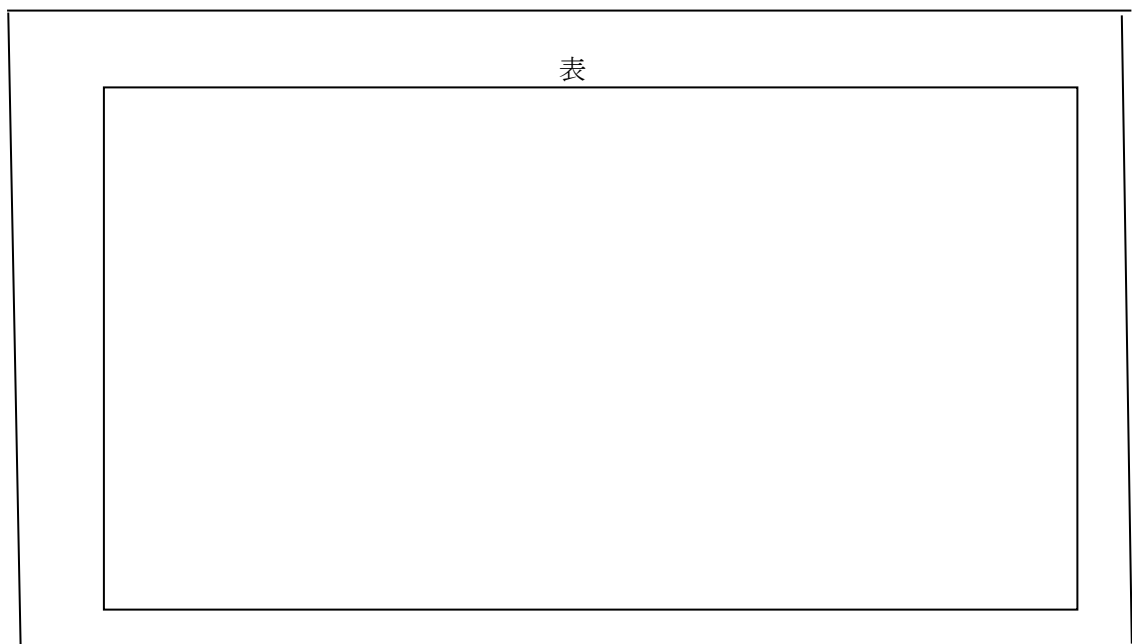


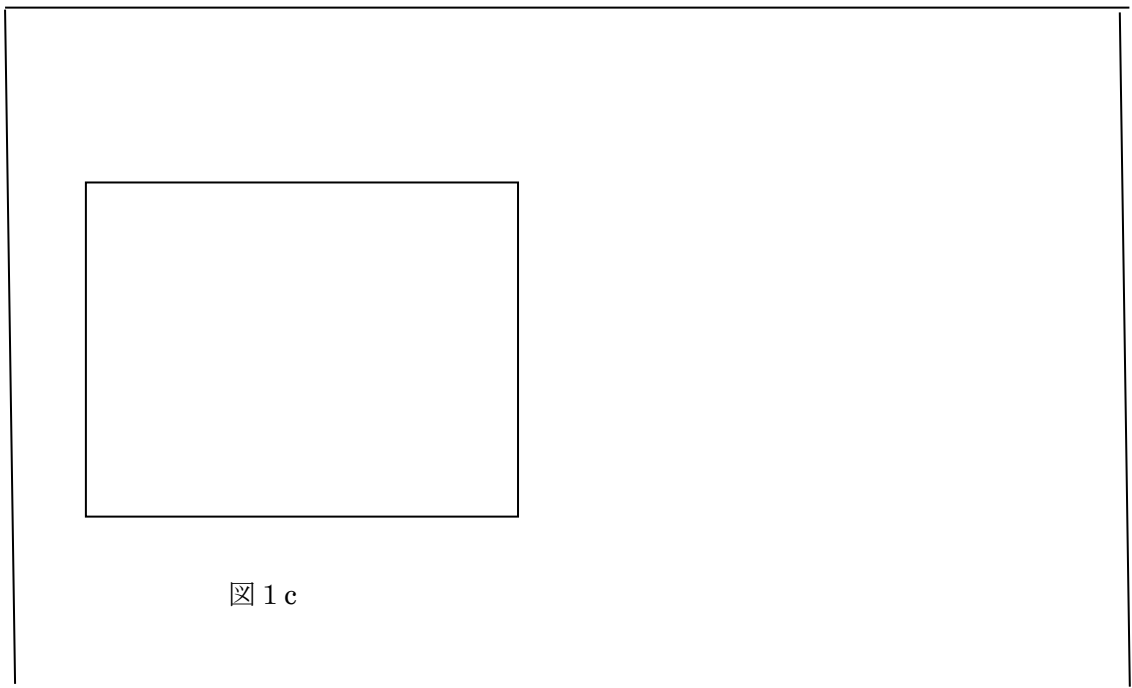
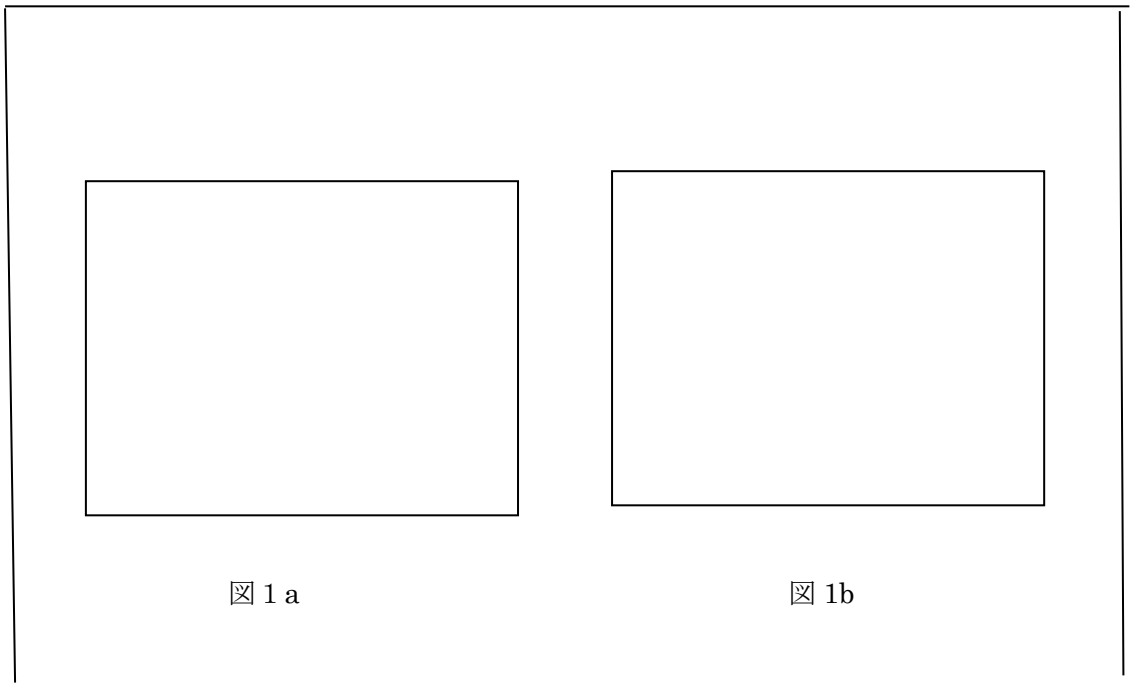
写真 (図) は Microsoft 社の power point で作成し、背景は無地で、PDF 形式に変換する。図・表に対応して本文の右余白に図や表の番号を記載すること。power point は横書きでも縦書きでもよいが、組み合わせ図は 1 枚に図 2 枚以内で貼付すること。写真 (図) の解像度は、カラーは 400dpi 以上、モノクロは 600dpi 以上とする。

表は 1 枚に 1 つでわかりやすく記載すること。

カラー印刷を希望する場合はカラー写真を貼り「カラー印刷希望」と記載する。

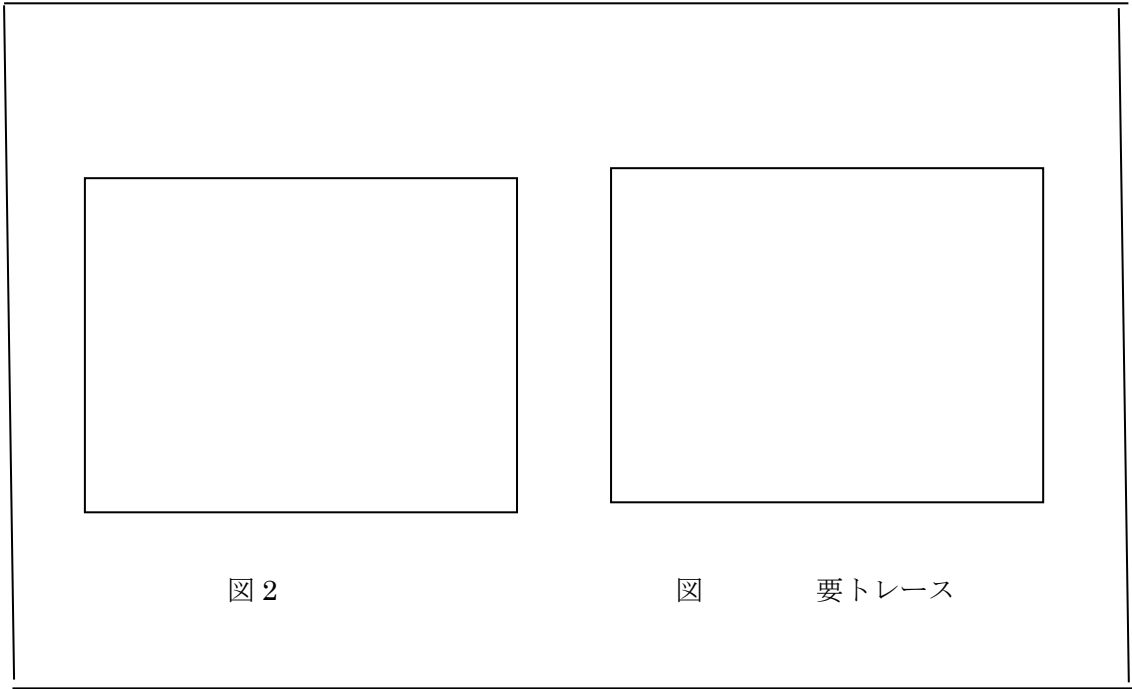
モノクロ印刷を希望する場合はモノクロ写真に変換して貼付する。写真の天地を記入する。

(7) 組み写真について



組む写真イメージ 1

(例) 組写真 (図) が, a,b,c の 3 枚の場合は、1 枚目に図 1 の a, b を、図 1c 以降は次の頁に貼付する.



組み写真イメージ 2

図のトレースに希望する場合、「要トレース」と記載する.

(8) 表について

白血球数	8.06×10 ³ /μL	
赤血球数	3.93×10 ⁶ /μL	L
ヘモグロビン	12.7g/dL	L
ヘマトクリット値	37.9%	L
血小板数	17.9×10 ⁴ /μ	
好中球	72.1%	H
リンパ球	21.2%	L
単球	5.6%	
好酸球	0.7%	L
好塩基球	0.4%	
総蛋白	7.6g/dL	
アルブミン	4.1g/dL	
CRP	2.79mg/dL	H
空腹時血糖 (FBS)	112mg/dL	H
HbA1c	6.6%	H
PT	11.9sec	
PT 活性度	87%	
PT-INR	1.10	
APTT	30.0sec	
血液 FDP	0.7	
D ダイマー	<0.1	
CEA	4.8ng/mL	
CA19-9	12U/mL	
SCC	0.8ng/mL	
F-T4	1.3ng/dL	
F-T3	2.8pg/mL	
TSH (甲状腺刺激ホルモン)	2.07μU/mL	
サイログロブリン/RIA	163.8ng/mL	H

表 1 イメージ

表には原則として、囲い線を使用しない。

表の上に表番号と表題を記載する。